

「世界に誇る環境主都まつえ～リサイクル都市日本一～」の実現を

まつえ環境市民会議

第11号

2010年12月

「まつえ環境市民会議」は、自然環境の保全、ごみの減量、地球温暖化防止、環境教育の推進の4つのテーマを柱に、市民・事業者・行政が協力し、一人一人が身近な活動を実践しています。

みんなでつなごう、いのちの輪

「松江市環境フェスティバル」

自然環境～生物多様性～

が開催されました。



と き:平成22年10月9日(土)
と ころ:くにびきメッセ <1F大展示場>

生物多様性の多くの活動が紹介されました。
多くのブースで身近な事から専門的な事まで
楽しく学ぶことが出来ました。

ステージイベント



バルーンアートショー

生物多様性をテーマにいろいろな生き物をバルーンで表現しました。



らんま先生

風船や水を使った楽しい実験で観客をひきつけました。



環境クイズ

汽水湖と生物多様性の関連を考えました。



ルー大柴トークショー

環境の話題を中心に楽しいトークがありました。

まつえ環境市民会議

平成19年2月17日設立

- 水と緑のまち部会 (第1部会)
- 循環型のまち部会 (第2部会)
- 地球を思いやるまち部会 (第3部会)
- 環境を学び行動するまち部会 (第4部会)

会員数 個人: 136人
団体: 42団体
法人: 91法人
(平成22年3月31日現在)

会員募集中

◆環境問題について、一緒に考え活動してみませんか◆

- 年会費 個人会員 1,000円/1口
団体会員 2,000円/1口
法人会員 3,000円/1口

【振込先】山陰合同銀行松江市役所出張所
(普通) 3608893 まつえ環境市民会議

※「まつえ環境市民会議」は、みなさんの年会費で運営されます。

<http://www.shiminkaigi.jp/index.html>

会員拡大に
ご協力ください

申し込みは事務局
TEL25-0881まで

申込書は松江市
ホームページから
ダウンロードできます。

平成22年度

各部会事業報告

全体事業

「水郷祭ごみ持ち帰り啓発活動」

- とき／平成22年8月1日(日)
- ところ／穴道湖大橋周辺

水郷祭会場でごみ袋2,500枚を配って、ごみの持ち帰り呼び掛け、「ごみを捨けない」意識の向上に役立てました。



第1部会 水と緑のまち部会

～自然に親しみ守り育てる活動を推進しよう～

「古浦海岸漂着ごみ回収」

- とき／平成22年6月23日(水)
- ところ／鹿島町 古浦海岸

海水浴シーズンを前に、地元古浦地区の皆さんと清掃活動を行いました。大きなごみ袋が山積みになる程集まり、参加者同士で労をねぎらい、来てもらうお客さんに気持ちよく遊んでもらうことを願いました。



第2部会 循環型のまち部会

～ごみの減量化や環境美化活動を推進しよう～

「家庭ごみダイエット講習会」

- とき／平成22年9月30日(木)
- ところ／八雲公民館

“買いすぎ”、“作りすぎ”、“食べすぎ”に注意すると、ごみの減量にもつながり健康にも良い事を学びました。講師、友の会:澤江典子さんのユーモアあふれる指導で楽しく学ぶ事が出来ました。



第3部会 地球を思いやるまち部会 ～地球温暖化防止活動を推進しよう～



「グリーンカーテン・コンテスト」

- とき／平成22年10月9日(土)
- ところ／くにびきメッセ

事前にグリーンカーテンの写真・ゴーヤ料理のレシピを募集し、コンテストを行いました。当日は、活動の様子を展示し、ゴーヤ料理レシピ集を配布しました。

「キャンドルナイトまつえ」

- とき／平成22年6月19日(木)
- ところ／松江城馬溜り

“めざせ国宝 松江城”をテーマに、2,000個のキャンドルで松江城を描きました。一つ一つのキャンドルに火を灯し、見事な松江城がかびあがり、美しさのため息がもれていました。



第4部会 環境を学び行動するまち部会 ～意識の高い人を育てる環境学習を推進しよう～

「しじみ観察会」

- とき／平成22年8月22日(日)
- ところ／玉湯町 (日本シジミ研究所)

宍道湖の観察やしじみかき体験を行いました。中心部までボートに乗って行きましたが、今年は例年になくアオコの大量発生を観察することが出来ました。その後、現地においてしじみ汁の試食を行い、宍道湖の恵みに舌鼓を打ちました。



10月28日(木)、新聞エコバッグ講習会を開催しました。

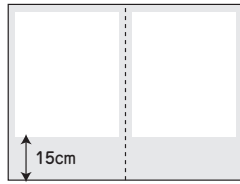
新聞だんだん(エコ)バッグ を作ろう!

2ℓのペットボトルが3本も入る丈夫な“だんだんバッグ”の作り方を紹介します。挑戦してみてください。

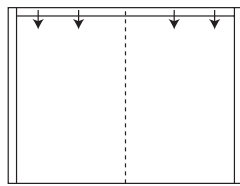


準備するもの 新聞紙7枚、木工用ボンド、物差し、洗濯ばさみ、ダンボール（へらとして使用）、鉛筆

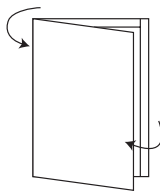
1 新聞紙を広げ、枠線の外側と中心、下側の幅15cmにボンドを塗りへらで薄く延ばす。4枚を同じように重ね張りする。一番上にくる新聞紙はバッグの表になるので気に入ったデザインなどを選ぶと良い。



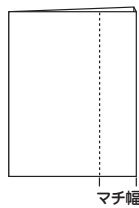
2 裏返して上の部分を新聞紙の模様を見ながら折り、のり付けて内側に張り付ける。



3 左右二つに折りたたみ、端を二度折り筒状にする。



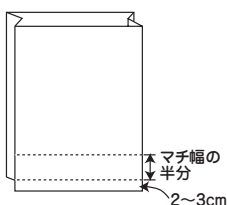
4 張り合わせた部分から図柄を見ながら山折りにして平たく倒し、反対側にも折り目を付け、マチを作る。



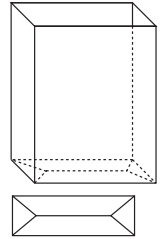
5 マチ（袋の側面）ができたら、折り目同士を合わせて、中央に谷折りの折り目を付ける。



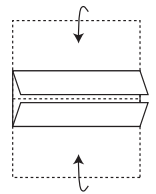
6 下の部分を2~3cm折り、上方に張り付ける。さらに、そこからマチ幅の半分のところを折りししっかりのり付けをして上方に張り付け、谷折りにしておく。（底の部分）



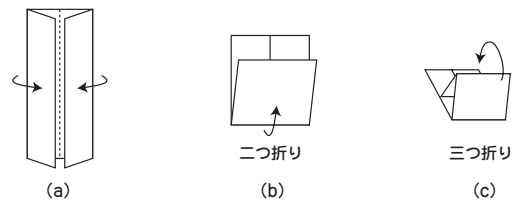
7 袋の内側に手を入れ、⑥でつけた谷折りの折り目が底の線になるように広げ底を作る。底の左右は三角形になるよう整え、外側と内側の重なり部分を張り付ける。



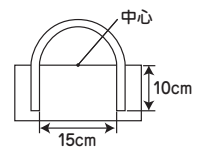
8 持ち手●新聞紙1枚を縦長に広げ、上と下を中央にそろえて折る。下半分は中央にそろえて折ることを4回繰り返して約1cm幅にする。上半分は棒状になった下半分を芯にして、なるべく平らになるようしっかりと押さえながら巻く。巻き上げたら2巻き分開いてのり付けて巻き戻す。2本の持ち手ができたらU字型になるよう指の腹で調整する。



9 持ち手押さえ●新聞紙1面分（広げた半分）を縦長に置き、(a)→(b)→(c)の順に折り、のり付けをする。



10 持ち手押さえにU字型の持ち手を付ける。持ち手の幅は約15cm、端から10cmのところのにりを付け、まっすぐになるように張り付ける。



11 持ち手押さえと本体の中央に印を付ける。持ち手押さえにのりを付け、本体に取り付け乾くまで洗濯ばさみで固定しておく。

